

**富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議**  
**平成 26 年度人材育成専門部会（議事概要）**

**日 時** 平成 27 年 1 月 16 日（金）10:00～11:40

**場 所** 農協会館 801 会議室

- 議 事**
- （1）平成 25 年度 県中小企業振興施策の実施状況について
  - （2）県中小企業振興基本条例に新たに盛り込む内容（案）について
  - （3）県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクト平成 26 年度の取組状況について
  - （4）その他

**委員からの主な意見**

**【人材の確保・育成】**

- ・ 今後、団塊の世代が 65 歳を過ぎると、看護、介護等の職種に限らず人材不足が発生する。国、県、市町村、連合等がそれぞれ役割分担をして雇用対策を進めなければならない。
- ・ 左官業や板金業などの職人の分野での後継者不足が深刻である。本県のものづくり産業を支える、こうした分野の小規模企業の人材確保のための支援が必要である。
- ・ ものづくり産業の人材育成の支援等において、成果を挙げているが、支援策の PR は、小規模企業を含めより多くの企業にきめ細かく実施していただきたい。

**【若者の職場定着・Uターンの推進等】**

- ・ 有効求人倍率や高校生の就職内定率が高い中でも、非正規社員として転職を繰り返す若者がいることも現実である。こうした若者を応援するセミナーやメンタル相談会等の支援が必要ではないか。
- ・ 人口減少、人手不足の中で、経営者が従業員に期待するものが変わってきており、企業と若者とのマッチングにおいてずれが生じてきている。階層別の研修会の実施等により、それぞれのニーズを的確に把握して支援することが必要ではないか。

- ・ 当会では、学生等に労働法制等を知ってもらうための出前講座等の取り組みを強化していきたい。
- ・ なかなか就職できない若者に対しては、ハローワークにおいて親切、丁寧な対応を心がけている。また、労働局では、若者に労働法制を知ってもらうための学校訪問等を実施しており、働くことの大切さなども伝えている。
- ・ 県内の高校生（特に普通科）は、県内の優れた企業の情報を知らない。高校1年生でも遅いくらいかもしれないが、早い段階でキャリア教育として、県内企業の情報提供を行い、夢を持ってもらうことがUターンを進める有効な方策である。また、親への情報提供も重要である。
- ・ 県内企業の人材確保のためには、ものづくり産業に魅力を感じてもらい、本県の製造業等に理解、関心を持ってもらうことが必要である。その意味でも、ものづくり総合見本市等の取り組みは重要である。また、保護者を含めて、情報提供の機会を広げていただきたい。

#### **【仕事と子育ての両立支援】**

- ・ 県では、条例により、（法を上回る）従業員 51 人以上の企業に対して一般事業主行動計画の策定を義務付けており、その策定率も 90%を超えているが、共働きが多い本県においては、さらに仕事と子育てが両立しやすい職場づくりへの支援が必要である。
- ・ 今後も女性のキャリア研修等充実をお願いしたい。また、女性の再就職については難しい面もあるが、当財団としてもハローワークとも連携して支援していきたい。